SketchUp評価版　Windows版について

SketchUpの評価版をダウンロードしていただきありがとうございます。
このインストーラーでは、SketchUp Proだけでなく、SketchUp Studioの機能もインストールできます。
インストールの際は、必要な機能を選択してインストールをして下さい。

A.インストール
B.サインイン
C.アンインストール
D.SketchUp Studioの機能を追加または削除する方法
E.Proのサブスクリプションの方がStudioの機能をインストールした場合

SketchUpの評価版をお使い頂くには、サインインが必要です。
サインインは、以下の4種類のアカウントのいずれかを使用することができます。

・Trimbleアカウント
・Appleアカウント
・Googleアカウント
・Microsoftアカウント

Trimbleアカウントを作成する方法はこちらのPDFをご覧ください。

SketchUp 2027

対応OS： Windows11　64ビット版のみ

※インストールの際は「管理者権限」を持ったユーザーでパソコンにログインする必要があります。
※インストールの際はインターネットに接続していることが必要です。
※インストール中にパソコンの再起動が必要になる場合があります。
　作業中のアプリケーションをすべて終了してからインストールを開始してください。
※動作環境につきましてはこちらをご覧ください。

A.インストール

1. ダウンロードしたプログラム SketchUp20XX.exe をダブルクリックしてインストールを開始します。
はじめに下図の画面が表示されます。



2. 旧バージョンの SketchUp、LayOut のいずれかを起動している場合は下図のようなメッセージが表示されます。
アプリケーションを終了してから右下の「次へ」をクリックします。



3. 下図が表示されます。



①にSketchUp Pro Scan、SketchUp Advanced Workflows、SketchUp Studio のライセンスで使用可能な製品のリストが表示されます。

Scan Essentials、Revit Importer、V-Ray for SketchUp のチェックボックスがありますので、利用する製品にチェックをつけてSketchUpの評価版をお試しください。

※ご注意：2026年10月23日現在、V-RayはSketchUp 2027に対応しておりませんのでチェックは外してください。

SketchUp Pro Scan、SketchUp Advanced Workflows、SketchUp Studioのライセンスの比較はこちらからご確認いただけます。

※SketchUp Proのサブスクリプションをお持ちの方がStudioの機能をインストールした場合の動作はこちらをご覧ください。

各機能の詳細については以下のリンク先をご覧ください。

Scan Essentials

Revit インポーター

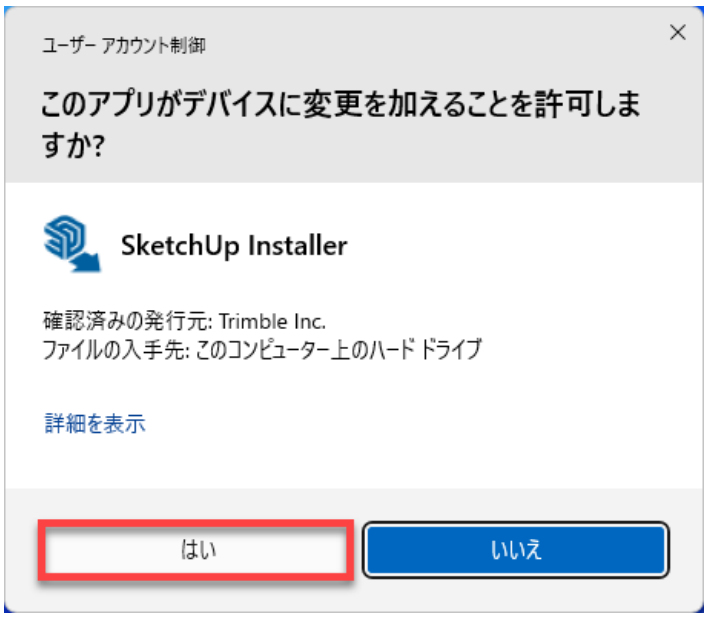
V-Ray for SketchUp

SketchUp Proの機能のみをお試し頂く場合は、各項目のチェックを外した状態にして下さい。

※インストール後に各機能を追加または削除することができます。方法はこちらをご覧ください。
※インストールする言語を変更する場合は②の「変更」をクリックして言語を選択して下さい。
※インストール先は変更しないようにして下さい。
【インストール先】　C:¥Program Files¥SketchUp¥SketchUp 202X

4. 設定が完了したら、手順3の画像③の「インストール」ボタンをクリックしてインストールを進めます。

① 「ユーザーアカウント制御」が表示されますので「はい」をクリックします。



② インストールが完了すると下図の表示になります。
中央の SketchUp のアイコンをクリックすると SketchUp が起動します。
「完了」をクリックした場合は、デスクトップのアイコンから SketchUp を起動してください。



【ショートカットアイコン】

インストールが成功するとデスクトップにショートカットアイコンが作成されます。



5. インストール後、初めて SketchUp の起動を行うと、Trimbleライセンス契約 が表示されます。
“**オファーの条件を確認する**”のリンクにアクセスするとSketchUpの利用規約をご覧いただけます。
こちらご確認の上問題がなければ左下の「承認」をクリックします。

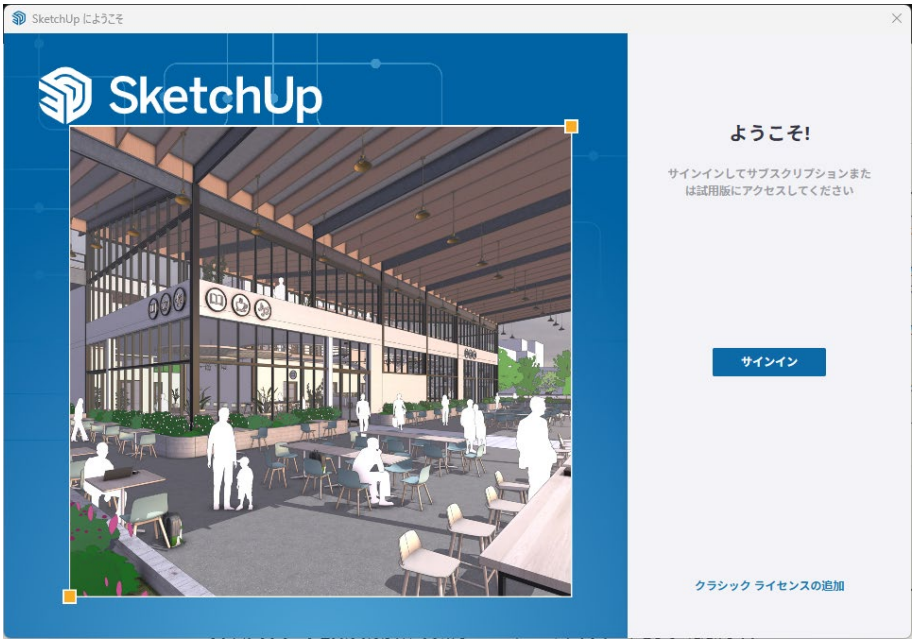


クリックした後はSketchUpのサインインの画面が表示されます。
サインインについてはこちらをご覧ください。

B.サインイン

インストールが完了したら、以下の手順でSketchUp にサインインをするとSketchUp の使用を開始することができます。

1. SketchUp Pro を起動すると下図のウィンドウが表示されます。
   右側の「サインイン」をクリックします。



2. ブラウザが起動して下図のサインインの画面が表示されます。



※ テキストの表示がおかしい場合は、ブラウザの自動翻訳の設定を解除してください。

3. Trimbleアカウントでサインインをする場合は、下図①にメールアドレスを入力して②の「次へ」をクリックします。
   ※ Trimbleアカウントを作成する場合はこちらのPDFをご覧ください。
   ※ Apple、Google、Microsoftの各アカウントでサインインをする場合は、下図③でサインインをするアカウントをクリックしてサインインをして下さい。



4. 次の画面でパスワードを入力して、「サインイン」をクリックします。



5.　メールアドレスに認証コード（6桁の数字）が送られますので、下図①に認証コードを入力します。



※現在Trimble アカウントにサインインをする場合は2段階認証が必須となりました。
　詳細につきましてはこちらをご覧ください。
※Trimbleアカウントのパスキーを設定されている方はこちらをご覧いただきサインインをしてください。

6.　サインインが完了するとブラウザは下図の表示になります。ブラウザを閉じてください。



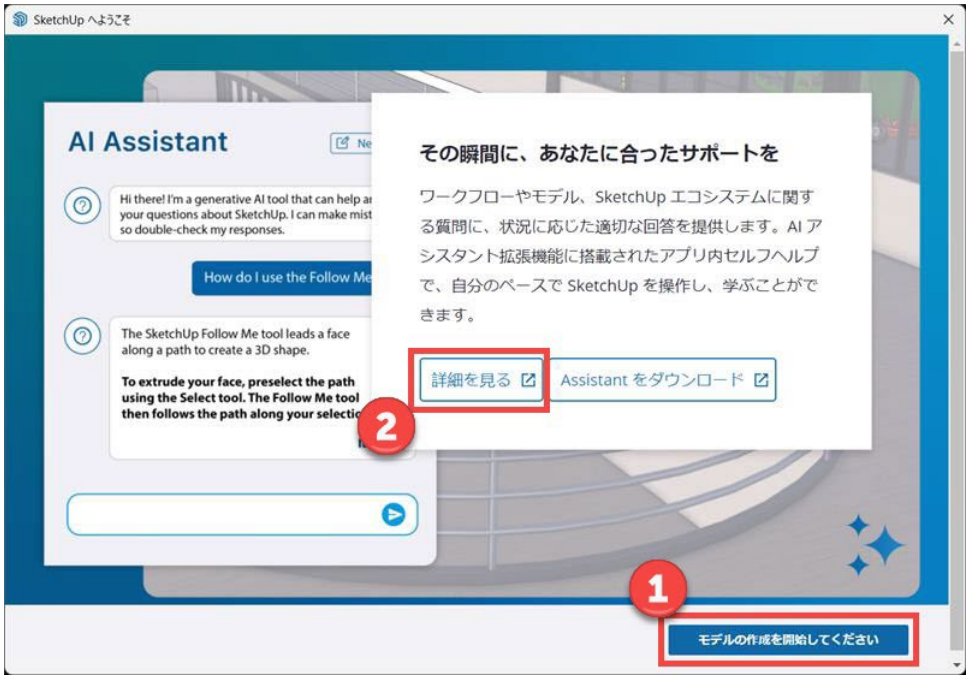
7. サインインが完了すると「SketchUpへようこそ」のウィンドウは下図のような表示になります。
「試用を開始」をクリックします。
下記リンク先のサポート記事に記載された手順を実施したうえで、SketchUp の評価版をご利用ください。
SketchUp評価版を開始する方法 | SU Support



8. 下図のような表示になります。
テンプレートのサムネイルをクリックすると選択したテンプレートで新規ファイルを開くことができます。
テンプレートは各スタイルと単位の組み合わせが用意されています。



※「ファイルを開く」をクリックすると、既存のファイルを選択して開くことができます。
※「最近使ったファイル」には、最近使ったファイルや修復されたファイルが表示されます。



上図のような画面が表示されましたら ①「モデルの作成を開始してください」をクリックしてください。
②「詳細を見る」をクリックするとリリース情報がブラウザで表示されます。
※SketchUp のアップデートに伴い、本画面の表示内容は変更されている可能性があります。

C.アンインストール

※アンインストールを行う前に、必ずサインアウトを行ってください。

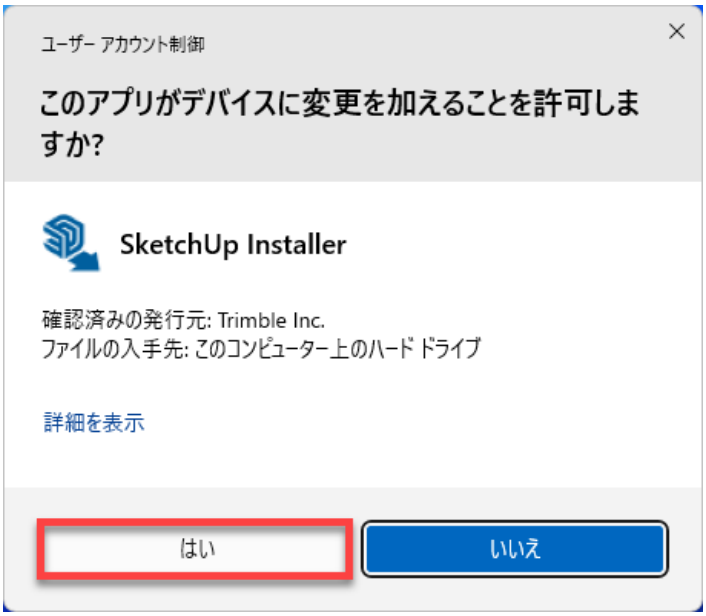
1. SketchUpを終了して、Windowsマークをクリックして 設定(歯車マーク) ＞ アプリ　にて「インストールされているアプリ」を選択してください。
   Windows11の場合は、削除するSketchUpのバージョンの①の3点マークをクリックするとメニューが展開するので②の「アンインストール」をクリックしてください。



2. 確認のメッセージが表示されますので「アンインストール」をクリックします。



3. 「ユーザーアカウント制御」が表示されますので「はい」をクリックします。



4. 下図のウィンドウが表示されます。右下の「削除」をクリックします。



5. アンインストール完了後以下のウィンドウが表示されます。
「完了」をクリックしてウィンドウを閉じてください。



これでアンインストールが完了します。

D.SketchUp Studioの機能を追加または削除する方法

SketchUp Studioの機能であるScan EssentialsとRevitインポーターを追加または削除する場合は
インストールの際に使用したインストーラーを使用して追加または削除をすることができます。
※ V-Rayを削除する場合は、「V-Ray for SketchUp インストールガイド」のPDFで
「アンインストール」の項目をご覧ください。

1. インストーラーを起動すると下図の表示になります。
「言語と機能を選択」をクリックします。



2. 言語の設定画面が表示されます。右下の「OK」をクリックします。



3. 「SketchUp Studio」の各機能のチェックボックスを選択して、「インストール」をクリックします。
※ 追加する場合はチェックを入れ、削除する場合はチェックを外します。



4. インストール完了後以下のウィンドウが表示されます。
「完了」をクリックしてウィンドウを閉じてください。



これで「SketchUp Studio」の各機能の追加または削除の設定が完了します。

E. Proのサブスクリプションの方がStudioの機能を インストールした場合

インストールの際に以下の3つの機能をインストールした場合、SketchUp Proのサブスクリプションでは

これらの機能を使用することはできません。

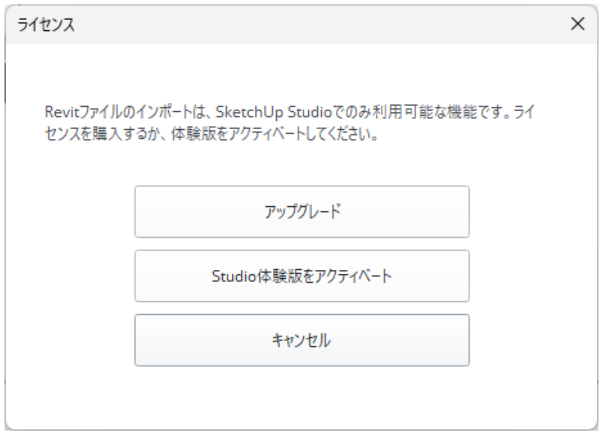
- Revit インポーター
- Scan Essentials
- V-Ray for SketchUp

※ アップグレードをしてSketchUp Studioを使用したい場合はこちらからお問い合わせ下さい。
※ Studioの7日間の評価版のライセンスを取得することでStudioの機能をお試しいただくことができます。
Studioの7日間の評価版のライセンスを取得する方法はこちらのPDFをご覧ください。

SketchUp Proのサブスクリプションで各機能を利用しようとすると以下のようになります。

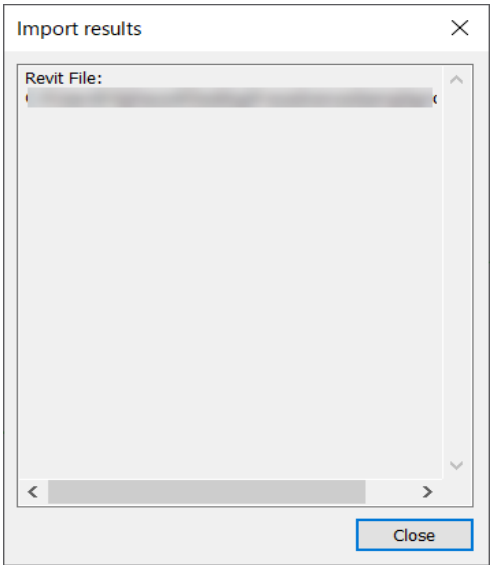
Revitインポーター

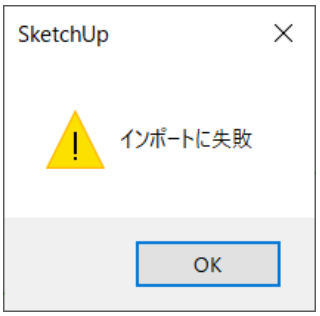
Revitファイルをインポートしようとすると下図のダイアログが表示されます。



Studioへのアップグレードまたは、評価版として
7日間使用するか選択することができます。
使用しない場合は、「キャンセル」をクリックして下さい。

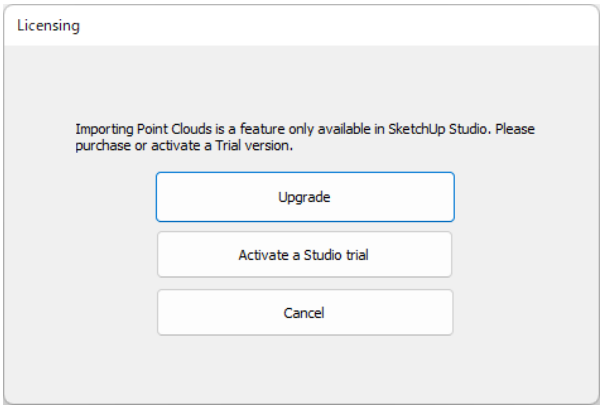
下左図が表示されるので、右下の「Close」をクリックします。下右図のように「インポートに失敗」と
表示されるので「OK」をクリックします。





Scan Essentials

点群ファイルをインポートしようとすると下図のダイアログが表示されます。

	Studioへのアップグレードまたは、評価版として 7日間使用するか選択することができます。 使用しない場合は、「Cancel」をクリックして下さい。

V-Ray for SketchUp

機能を使用すると下図のダイアログが表示されます。
「V-Ray for SketchUp ライセンスのチェックアウトに失敗しました。Chaos License Server に接続できません。」
と表示されています。

右下の「いいえ」をクリックして閉じて下さい。

